令和４年度　江別市社会教育総合計画（第９期）推進状況報告書

計画期間	令和　元　年度～　令和　5　年度

基　本　理　念　：　江別の風土を生かし、豊かで潤いのある地域社会を創造する人づくり

上記基本理念を実現するために基本目標を３項目設定し、取り組みます。

基本目標Ⅰ：地域全体で子どもを守り育てる体制づくり

【基本目標Ⅰで目指すこと】
　少子高齢化や核家族化の進展、親子の関わりや地域とのつながりの希薄化など、家庭や地域の環境変化に伴い、様々な教育上の課題が指摘されています。
　江別の次代を担う子どもたちが健やかに成長していくために、家庭教育に関する学習の機会や情報を充実させるとともに、学校と地域が連携・協働しながら家庭教育を支え、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを進めていきます。

１　家庭の教育力の向上

◆成果指標１－①　公民館の「子育て支援事業」の参加者数（人）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
1,707	1,335	765	915	887		→

◆成果指標１－②　家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数（人）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
34,337	35,411	26,265	18,590	27,866		→

２　地域の教育力の向上

◆成果指標２－①　学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
79.8%	80.5%	75.9%	74.7%	75.7%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標２－②　学校が地域交流の場として活用されていると思う市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
64.4%	65.0%	59.2%	56.6%	56.6%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

３　子どもの可能性を引き出す教育の充実

◆成果指標３－①　ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
63.8%	60.2%	51.8%	44.2%	53.8%		↗

指標：江別市教育委員会調査

４ 子どもの安全・安心な環境づくり

◆成果指標４－①　子育て環境が充実していると思う保護者の割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
45.6%	47.9%	51.1%	50.9%	47.9%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・青少年の健全育成に取り組む活動を推進するため、体験活動やボランティア活動等の機会を確保したほか、育成団体等との連携・協働に取り組みました。
・地域とともにある学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援ボランティアの全市的派遣を継続したほか、相互に連携して子どもを育てる持続可能な仕組みづくりのため、引き続き「えべつ型コミュニティ・スクール事業」を進め、地域による学校活動への参画を促進しました。
・成果指標１-②「家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数」は、R３年度に比べて増加しております。コロナによる子育て支援施設の休館や利用人数等の制限がなくなり、従来の開設日数を確保できたことや、感染の不安から利用を控えていた子育て家庭の利用が増えたことなどが考えられます。
・成果指標４-①「子育て環境が充実していると思う保護者の割合」は、R３年度に比べて減少していますが、現状値を上回っています。その他の指標については、R３年度に比べて増加もしくは横ばいの結果となっておりますが、目標に達しておりません。今後も、関係機関等と連携して魅力ある事業の提供に努めます。
・学校や社会教育施設は、地域住民のニーズを把握して主導的に学習の機会を企画し提供することができる地域学習の拠点です。引き続き、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、地域の人材やボランティア団体などと連携した体験活動を実施し、世代間の交流や団体活動の活性化を図ります。

基本目標Ⅱ：学びを支える生涯学習の推進

【基本目標Ⅱで目指すこと】
近年平均寿命が伸び、「人生100年時代」の到来が予測されていることから、超高齢化社会を見据えた生涯学習の推進を目指す必要があります。
江別市においては、市民が学びたい時に、学びたい場所で、学びたい方法により、学ぶことができる環境づくりを目指します。
また、市民団体や企業、大学などと連携・協働し、学んだ成果が日々の生活や地域づくりに活かされる生涯学習を推進します。

１　生涯にわたって学ぶことのできる環境づくり

◆成果指標１－①　生涯学習の機会が充実していると思う市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
63.1%	69.9%	64.2%	67.1%	62.2%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標１－②　生涯学習の施設が充実していると思う市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
66.9%	72.6%	66.8%	70.4%	65.8%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

２　市民が行う学習活動への支援

◆成果指標２－①　生涯学習の情報が充実していると思う市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
62.3%	68.7%	63.3%	65.9%	59.1%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

３　協働・連携による生涯学習の推進

◆成果指標３－①　学習した成果を、まちづくりやボランティア活動に活かしている市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
21.8%	30.5%	16.2%	23.1%	17.1%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・市民の交流や学習活動の拠点となる社会教育施設における感染症対策の徹底を図り、安心して利用できる施設環境を維持し、多様な学習活動機会の確保に努めました。
・生涯学習に取り組む市民や活動団体等に、安全で快適な学習環境を提供するため、コミュニティセンターパネルヒーター更新工事、野幌公民館屋上外部改修工事を実施しました。
・生涯学習事業を実施する各活動団体が自立し、主体的に活動を展開していけるよう、社会教育団体への公民館施設等使用料の減免など、活動団体の安定的な運営への支援を実施しました。
・市民の多様な学習要求に応えるとともに、市民が地域課題の解決に向けた問題意識と知識を獲得し、まちづくりに主体的に参画するための学習の場を提供するため、市内４大学等と連携した「ふるさと江別塾」をオンライン配信により実施したほか、動画を視聴できる会場を開設しました。
・成果指標については、いずれもＲ３年度に比べて減少しています。アフターコロナを見据え、新たな学習ニーズに応じた学習環境や施設整備を検討していく必要があります。
・引き続き、日常的に様々な生涯学習活動に取り組む市民を増やしていくために、積極的な情報提供に努め、地域の知的資源である団体や企業、大学などと連携しながら、生涯を通して学習することのできる環境づくりを進めていきます。

基本目標Ⅲ：地域で育まれた多様な文化の再発見と創造

【基本目標Ⅲで目指すこと】
　文化・芸術活動の促進と文化遺産の保存活用は、全ての市民に豊かで潤いのある暮らしをもたらし、地域の特色づくりに重要な役割を果たします。
　市民が関心・意欲を持って活動に取り組めるよう主体的な活動を支援し、文化施設の環境整備を進めることで、市民と共に創造する文化・芸術活動の充実を目指します。
　また、江別市には多くの埋蔵文化財や歴史的建造物、伝統文化などがあり、これらを市民の誇れる共有財産としていくため、調査研究・保存を通して郷土学習機会を提供するなど、有効な活用を図ります。

１　文化・芸術活動の促進

◆成果指標１－①　文化・芸術活動に参加している市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
23.5%	26.7%	22.8%	20.9%	26.6%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

２　文化施設の利活用促進

◆成果指標２－①　過去１年間に文化施設を利用した市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
30.5%	32.0%	23.6%	24.9%	25.9%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

３　文化遺産の保存と活用

◆成果指標３－①　文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合（%）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
36.3%	38.9%	42.1%	40.6%	35.3%		↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標３－②　郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数（回）

現状値（H29年度）	R元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	目標値（R５年度）
48	46	46	38	48		→

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や幅広い活動の場を提供するため、音楽・演劇公演の開催や文化活動団体の事業に対し支援を行いました。
・郷土資料館やセラミックアートセンターでは、アフターコロナを見据え、誰もが安心して利用できる施設運営に努め、企画展や展示会、各種教室・講座を開催しました。
・成果指標１-①「文化・芸術活動に参加している市民割合」、２-①「過去１年間に文化施設を利用した市民割合」はＲ３年度に比べて増加し、３-②「郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数」は現状値まで回復し目標に達しています。
・成果指標３-①「文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合」は、Ｒ３年度に比べて減少しています。文化財や歴史遺産をより身近な市民共有の財産として知っていただくため、効果的な情報発信を継続して行っていく必要があります。
・江別の歴史文化遺産を正しく後の世代に継承していくことが重要であると考えることから、今後も市民が分かりやすく学習できる機会を提供し、次代につながる取組を進めていきます。